

## 福岡県交通安全施設業協会「第10回通常総会」開く 知名度アップに努め、地域の安全・安心を支える協会へ



令和8年度事業計画などを決めた「第10回通常総会」

(一社)福岡県交通安全施設業協会(田中賢哉会長)の「第10回通常総会」は18日、福岡市の福岡リーセントホテルで開催された。総会には会員49人(委任状23人)が出席し、令和7年度の事業報告や収支決算報告を審議・承認されたほか、令和8年度事業計画では「各種資格の取得及び教育」、「子ども守ろうプロジェクト事業」、「高校生対象の出前講座」などの事業計画が承認され、総会後の意見交換会では会員同士の活発な意見が交わされた。

総会の挨拶で、田中会長(日本ディックライト株)は、「今年2月以降の中東情勢の激変により、原油輸入の不安定化が進み、原材料の確保や価格高騰など、業界を取り巻く経営環境は大変厳しい状況となっております。協会としても、関係機関に対し業界の現状を報告するとともに、発注単価の引き上げなど必要な対策について要望活動を行っております。また、当協会は本年度で設立10年目を迎え、現在、正会員72社、賛助会員33社、合計105社を擁する専門業種団体へと成長いたしました。昨年の協会活動として、6月に路面表示施工技能試験を行い九州地方整備局、県警本部からも視察をして頂き、9月には県要望活動ということで、県土整備部・建築都市部等に協会役員で訪問し、意見交換を実施。10月には6回目となる研修会や“子どもを守ろう



挨拶の田中会長

プロジェクト事業”を福岡地区の大野城市で実施。通学路にカラー塗装、区画線、標識等を設置し、交通事故から子どもを守ると同時に、マスコミ等にも取り上げられ協会としての知名度アップにも繋がりました。今後も、予算確保への取り組みを含め、業界の発展と協会活動の充実に努め、協会のさらなる発展に尽力してまいります」と挨拶した。



来賓祝辞の山田課長

来賓祝辞で、福岡県土整備部道路維持課の山田光春課長は「近年の交通安全施策については、令和3年に千葉県八街市で発生した児童死傷事故をきっかけに、全国的に通学路の安全対策が緊急的に進められ、福岡県内におきましても小・中学校周辺の1,367か所において安全対策に取り組んでおり、協会の皆様をはじめ、関係機関の皆様のご協力により、今年度中には必要な対策を概ね完了できる見込みとなっております。また、昨年度はグリーンベルト整備にもご協力を賜り、通学路の安全対策推進に大きく貢献いただきました。さらに、近年では自転車通行空間の整備など、新たな交通安全施策への対応も求められており、これまで以上に高品質な交通安全施設の整備が重要になっていると考えております。一方で、資材価格の高騰などにより、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いておりますが、引き続き皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます」と述べた。

続いて、福岡県警察本部交通部参事官兼交通規制課長の曾我部俊幸警視は「最近の交通事故状況は4月末現在の交通死亡事故による死者数は33人で、前年より6人増加しており、特に高齢運転者による事故が増加しております。また、飲酒運転の検挙件数は前年より減少しているが、根絶には至っておりません。皆様方も、“飲酒運転をしない、させない、許さない、見逃さない”という意識のもと、引き続き撲滅活動へのご協力をお願いいたします。さらに本年9月からは生活道路における30キロ規制も始まり、標識等の重要性が高まるものと考えております。今後とも、交通安全推進に向け、皆様方と連携して取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きご協力をよろしくをお願いいたします」と挨拶した。



来賓祝辞の曾我部警視

このあとの議事進行は、田中会長（日本ディックライト㈱）を議長に選出し、令和7年度事業報告と令和7年度収支決算報告を審議承認したあと、令和8年度事業計画と予算が審議承認された。新年度事業計画では、県土整備部・県警交通規制課との研修会や路面標示施工技能検定の共催、「子どもを守ろうプロジェクト事業」、県内の高等学校で出前講座を実施する。

総会後の意見交換会では、全国県議会議長会の蔵内勇夫会長の代理で武富勝之氏、自民党福岡県議団の松尾統章会長、福岡県土整備部の山口甲秀技監、福岡県建築都市部の山本英二技監、関係団体長らが出席。来賓挨拶として松尾統章会長、山口甲秀技監がそれぞれ

の立場から” 業界の更なる発展を願って” 祝辞を述べ、高野敏治副会長（㈲エスアールシステム）が乾杯し、協会の更なる発展に向けて、親睦を深めながら意見交換を行った。



来賓挨拶の松尾会長



来賓挨拶の山口技監



乾杯の高野副会長